

平成30年産水稻の出穂状況について（8月10日現在）

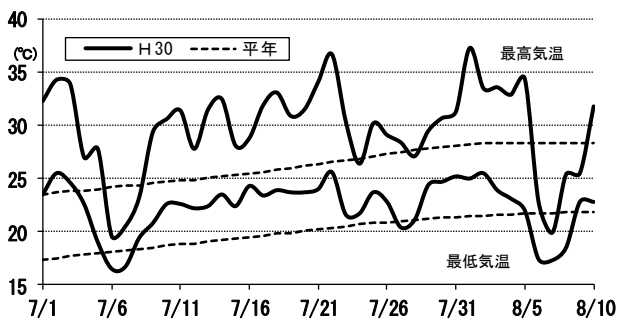
1 出穂状況等（概況及び今後の管理）

- 8月10日現在、62,027ha（水稻作付見込面積の96.2%）で出穂が確認され、本年の出穂期（県作付見込面積の95%で出穂）は平年より2日早い8月9日となった。
- 週間天気予報によると、「最高・最低気温ともに期間のはじめは平年より高く、かなり高い所もある」と見込まれており、稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質低下が懸念されることから、出穂後高温時の水管理としては「昼間深水・夜間落水管理」※、用水の確保が難しい状況においては「走水等により土壌を常に湿潤状態に保つ水管理」を行うよう指導している。
また、早期落水は登熟不良や品質低下の原因となるので、落水時期は出穂後30日以降を目安とするよう指導している。
- 斑点米カメムシ類に関する注意報が発表されており、薬剤防除は「出穂期」と「その7～10日後」の2回防除を徹底するとともに、出穂時期が早まっていることから防除時期を逃さないよう指導している。

※ 晴天等の高温時において昼間はできるだけ深水とし、夜間は逆に落水管理とする水管理の方法。

2 具体的データ

(1) 最高・最低気温の推移（仙台アメダス）



(2) 旬別の気象データ（仙台アメダス）

	平均気温(°C)		降水量の合計(mm)		日照時間(時間)	
	平年	平年差	平年	平年比	平年	平年比
5月	17.0	2.0	102.5	93%	183.6	99%
6月	20.3	1.8	100.5	69%	173.2	129%
7月上旬	24.0	3.4	48.5	79%	49.9	145%
中旬	26.3	4.3	6.0	9%	54.5	155%
下旬	26.2	2.5	4.0	8%	58.7	117%
7月	25.5	3.3	58.5	33%	163.1	136%
8月上旬	25.2	0.6	111.5	221%	46.6	89%

(3) 地方振興事務所・地域事務所別及び地帯区分別出穂状況

①地方振興事務所・地域事務所別

地区名	水稻作付見込面積(ha)	8月10日現在出穂状況			進行月日			(参考)平成29年度		
		出穂面積(ha)	進行率(%)	出穂始期	出穂期	穂揃期	出穂始期	出穂期	穂揃期	
大河原	6,707	6,473	96.5	7/25	7/28	8/10	7/26	7/29	8/10	
仙台	12,218	11,835	96.9	7/28	8/1	8/8	7/29	8/3	8/10	
大崎	18,174	17,568	96.7	7/29	8/1	8/8	7/28	8/1	8/10	
栗原	9,083	8,477	93.3	7/27	7/31	-	7/29	8/1	8/13	
登米	9,905	9,707	98.0	7/29	7/31	8/6	7/29	8/1	8/6	
石巻	7,458	7,121	95.5	7/29	8/1	8/10	7/29	8/2	8/19	
気仙沼	910	846	93.0	8/1	8/4	-	8/2	8/7	8/15	
県計	64,455	62,027	96.2	7/28	7/31	8/9	7/29	8/1	8/11	

②地帯区分別

地帯区分	水稻作付見込面積(ha)	8月10日現在出穂状況	
		出穂面積(ha)	進行率(%)
山間高冷	976	779	79.8
西部丘陵	5,388	5,168	95.9
北部平坦	42,546	41,203	96.8
南部平坦	5,384	5,288	98.2
三陸沿岸	1,567	1,211	77.3
仙台湾沿岸	8,595	8,378	97.5
県計	64,455	62,027	96.2

※出穂始期、出穂期、穂揃期は、それぞれ水稻作付見込面積の5%、50%、95%以上が出穂した日である。

※平成30年作付見込面積は、農産環境課でとりまとめた主食米の作付見込面積を用いた。

(4) 出穂時期の比較

区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	7月31日	8月9日
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	4日早い	2日早い

※平年値は平成20～29年の10か年のうち最も早い年と最も遅い年を除いた8か年の平均値を用いた。

※刈取状況は、9月中旬頃からの発表を予定しています。